Victor

クイックガイド
〜操作編〜

デジタルオーディオプレーヤー

型名　XA-C109-B/-S
XA-C59-A/-R

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に

付属の**クイックガイド**準備編、操作編、すべての機能については CD-ROM に収録されている取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、付属の CD-ROM と共に大切に保管してください。
また、**クイックガイド**準備編の「**安全にご使用いただくために**」も必ずお読みいただき、安全にお使いください。

LVT1565-001B

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045)450-8950 FAX (045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取扱いについて
ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ
http://www.victor.co.jp/
日本ビクター株式会社
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

　0706NSMCREJEM

各部の名称と主なはたらき

1 ◯（確定）ボタン
メニューリスト操作時：設定を選択 / 確定します。
音楽再生時：再生画面を切り替えます。
画面オフ時：元の画面を表示します。

2 △（上へ）/ ▽（下へ）ボタン
音楽再生時：音量を調整します。
メニュー操作時：カーソルを上下に移動します。

3 ◁（前へ）/ ▷（次へ）ボタン
音楽再生時：曲の先頭に戻る / 次の曲にスキップします。長押しで早戻し / 早送りします。
メニュー操作時：項目を選択します。

4 マイク
音声 / 音楽を録音します。

5 表示窓

6 HOLD スイッチ
ボタンをロックして誤動作を防ぎます。

7 ▷□（再生 / 停止）ボタン
長押し：電源を入 / 切します。
ファイルを再生 / 停止します。
録音を一時停止 / 再開します。
FM ラジオの音声を一時的に消します。

8 USB 端子

9 F1/F2 ボタン
登録した機能を表示 / 実行します。

10 ↩（戻る）ボタン
前の画面に戻ります。
長押しするとトップメニュー画面を表示します。

11 ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付けるときに使います。

12 リセットボタン
操作できなくなったときに押します。

13 REC ボタン
内蔵マイク / 外部機器 /FM ラジオからの曲を録音します。

14 ヘッドホン端子

15 LINE IN 端子
ステレオミニジャック
外部機器から曲を録音します（ダイレクトレコーディング）。

メニューの内容と切り替えについて

◁ / ▷ / △ / ▽ でメニューを選択し、◯ で各メニューを表示します。
トップメニューを表示するには、↩ を長押しします。

再生（RESUME）	前回停止した位置から再生します。
音楽（MUSIC）	音楽ファイルを表示 / 再生します。
フォルダ（FOLDER）	音楽 / 録音ファイルを表示 / 再生します。
録音（RECORD）	内蔵マイク / 外部機器からの曲を録音します。
ラジオ（RADIO）	FM ラジオを受信 / 録音します。
画像（PICTURE）	本機に転送した画像を表示します。
時計（CLOCK）	現在日時を表示します。
設定（SETTINGS）	音質、プレイモード、録音、日時などを設定します。

・ラジオメニュー：LINE IN 端子にケーブルを接続しているとラジオ画面は表示されません。
・画像メニュー：本機に画像ファイルが保存されていないと画像画面は表示されません。

再生する

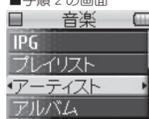
音楽ファイルを再生する

1 トップメニュー画面を表示して、◁ / ▷ / △ / ▽ で音楽メニューを選び、◯ を押す

■手順 1 の画面

2 △ / ▽ で項目を選び、◯ を押す
選んだ項目のリストが表示されます。
例：アーティスト

■手順 2 の画面

3 さらに項目がある場合は、△ / ▽ で項目を選び、◯ を押す

4 △ / ▽ で再生したい曲を選び、◯ を押す
再生画面が表示され、再生が始まります。
音量を調節するには、△ / ▽ を押します。

■再生画面

■音量調節画面

音量調節範囲：0 〜 30（標準）
設定メニューの「サウンド」－「ヘッドホン出力」で「高」に設定すると、音量調節範囲が 0 〜 40 になります。

再生の基本操作

操作	本機ボタン操作
曲を再生する	▷□ / ◯ を押す
再生を一時停止する	▷□ をもう 1 回押す
音量を上げる / 下げる（調節範囲：0 〜 30、ヘッドホン出力を「高」に設定したとき：0 〜 40）	上げる：△ を押す 下げる：▽ を押す
今聴いている曲を頭出しする	◁ を 1 回押す
前の曲にスキップする	◁ を 2 回押す
次の曲にスキップする	▷ を 1 回押す
早戻しする	◁ を押したままにする
早送りする	▷ を押したままにする

ジャケット画像表示方法

1 再生画面で ◯ を長押しする
サブメニューが表示されます。

2 ◁ / ▷ で「ジャケットオン」または「ジャケットオフ」を選ぶ

3 △ / ▽ で「オン」と「オフ」切り替えて、◯ を押す

■手順 2 〜 3 の画面

メモ
・音楽メニューから再生するには、あらかじめ音楽ファイルをパソコンから本機に転送しておく必要があります。
・録音ファイルの再生については、本紙の「録音ファイルを再生する / 削除する」をご覧ください。

再生画面からリピートモードを設定する

1 再生画面で ◯ を長押しする
サブメニューが表示されます。

2 ◁ / ▷ で「リピート」を選ぶ

3 △ / ▽ で設定する項目（下記参照）を選び、◯ を押す
選んだ項目が設定されます。

■手順 2 〜 3 の画面

リピートモードの設定項目（●：お買い上げ時の設定）	
●リピートオフ	リピートモードの設定をオフにします。
1 曲リピート	現在再生中の曲（1 曲）を繰り返し再生します。
全てリピート	現在選択中のアーティスト / アルバム / ジャンルなどに含まれるすべての曲を繰り返し再生します。
AB リピート	選んだ再生範囲の曲を繰り返し再生します。 A 点、B 点の決定は ◯ を押します。

・手順 **2** で「ランダム オン」RND を選ぶと順不同に曲を再生します。

音楽ファイルを削除する

1 再生画面で ◯ を長押しする
サブメニューが表示されます。

2 ◁ / ▷ で「削除」を選び、◯ を押す
「ファイルを削除します。よろしいですか？」と表示されます。

3 ◁ / ▷ で「YES」を選び、◯ を押す
選んだファイルが削除されます。

■手順 2 の画面

再生画面について

再生画面を表示するには

1 ↩ を長押ししてトップメニュー画面を表示し、◁ / ▷ / △ / ▽ で再生メニューを選び、◯ を押す
再生画面が表示されます。

再生画面の各部の名前

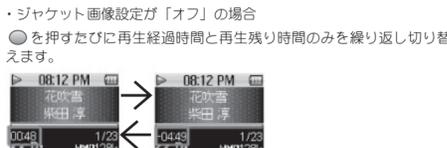
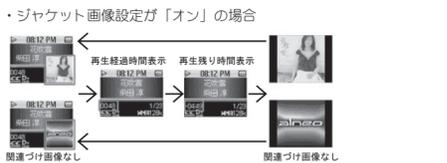
■ノーマル画面（再生経過時間表示 / 再生残り時間表示）
■ジャケット画像画面 / ジャケット画像拡大表示画面

1 再生状態表示
2 時刻表示
3 バッテリー表示
4 曲名
5 アーティスト名
6 曲番号／総曲数
7 再生位置
8 ◯ を押すたびに再生画面を切り替えて表示
9 サウンドモード表示
10 リピートモード
11 プレイモード
12 音声圧縮フォーマット
13 ビットレート
14 ジャケット画像
15「アラーム」アイコン
16「スリープ」アイコン

再生画面の切り替えについて

再生画面表示中に ◯ を押すたびに、画面表示が切り替わります。
音楽ファイルに画像ファイルが関連付けられている場合は、ジャケット画像画面でその画像を表示します。関連付けがされていない場合は、「alneo」画像を表示します。

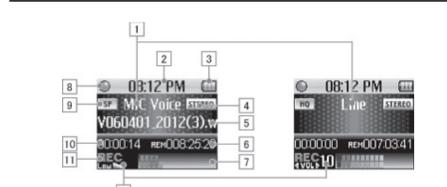
・ジャケット画像設定が「オン」の場合

・ジャケット画像設定が「オフ」の場合
◯ を押すたびに再生経過時間と再生残り時間のみを繰り返し切り替えます。

メモ
・再生中に再生画面以外の表示で、10 秒間無操作の場合には、自動で再生画面を表示します。（画面によっては、戻らない場合もあります。）
・他のモードからは F1/F2 キーを押すと再生画面を表示できます。（「設定」メニュー -「F キー設定」で割りあてる内容によっては表示できないことがあります。）
・上記の画面での曲名、アーティスト名などの表示は例です。

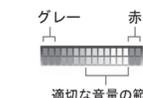
録音画面について

録音画面を表示するには

1 トップメニュー画面を表示して、◁ / ▷ / △ / ▽ で録音メニューを選び、◯ を押す
録音画面が表示されます。

録音画面の各部の名前

1 録音ソース表示
2 時刻表示
3 バッテリー表示
4 ステレオ／モノラル表示
5 ファイル名表示
6 残録音時間表示
7 録音レベルメーター
8 録音状態表示
9 録音品質表示
10 録音経過時間
11 モード表示（REC）
12 感度（MIC Voice）／録音ボリューム値（Line）

録音レベルメーターの見かたと設定

・録音レベルは、音量の大小を色分けされた録音レベルメーターで確認します。以下を参考にして、録音レベルを調整してください。
・録音レベルメーターが水色から黄色の範囲で動くときは、ほぼ適正な音量で録音されます。赤のレベルに達すると、音に歪みが生じる場合があります。LINE IN、マイク音楽モードでは、録音ボリュームで録音レベルを調整します。マイク音声モードでは録音感度を切り替えます。

・録音の各種設定を以下のように設定しているときは、録音レベルメーターの左側の表示色がグレーとなり、その範囲内では無音として判定されます。

録音ソース	録音設定
LINE IN	オートトラック
マイク（音楽：MIC Music）	オートトラック
マイク（音声：MIC Voice）	VAC 高 / 低

・ヘッドホンをヘッドホン端子に接続して録音する音を聴くことができます。

マイクで音声や音楽を録音する

1 トップメニュー画面を表示して ◁ / ▷ △ / ▽ で録音メニューを選び、◯ を押す

■手順 1 の画面

2 ◯ を長押しする
サブメニューが表示されます。

3 音声モードまたは音楽モードを選び、◯ を押す
モードが切り替わります。
録音画面に音声モード「MIC VOICE」、音楽モード「MIC MUSIC」と表示されます。

■手順 2 の画面
音声モード
音楽モード

4 録音感度またはボリュームを設定する
・音声モード：サブメニューから感度を切り替えます。詳しくは本紙の「録音機能や録音品質を選ぶ」を参照してください。
・音楽モード：録音画面で ◁ / ▷ を押し、録音ボリュームを調節します。

5 REC ボタンを押す
録音画面が表示され、録音が始まります。
（録音状態表示が、赤 ● に変わります。）

録音を一時停止／再開するには
▷□ を押す（一時停止中は ❚❚ が表示されます。録音を再開するにはもう一度 ▷□ を押してください。）
オートトラック、VAC「高」「低」に設定しているときは働きません。

録音を停止するには
REC ボタンを押す（録音状態表示が、グレー ● に変わります。）

録音したファイルを再生するには
本紙の「録音ファイルを再生する / 削除する」をご覧ください。

録音機能や録音品質を選ぶ

マイク録音の品質や録音の機能を設定できます。

1 録音画面で ◯ を長押しする
サブメニューが表示されます。

2 ◁ / ▷ でアイコンを選び、△ / ▽ で機能を切り替える
モード別に、録音環境に合わせて機能や品質を切り替えます。

音声モード

感度	低：1 〜 2 人の会話を録音するとき 高：多人数での会議などを録音するとき
VAC	低：無音検出レベルを低く設定します 高：無音検出レベルを高く設定します オフ：VAC 機能を無効にします

音楽モード

トラックマーク	マニュアルトラック：手動でトラックを分けるとき オートトラック：無音を区切りに、自動でトラックを分けるとき
ウィンドカット	オン：マイクに風が当たることで生じるノイズを軽減したいとき

音声 / 音楽モード共通： 品質

モード	品質	ビットレート	コーデック	STEREO /MONO
EP	さらに長時間録音用	32kbps	WMA	MONO（L チャンネル）
LP	長時間録音用	64kbps		STEREO
SP	標準	96kbps		
HQ	高音質	128kbps		

3 ◯ を押して決定する
録音画面に戻ります。

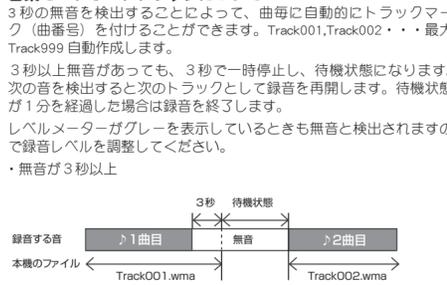
音声モード VAC 機能について
・3 秒以上音のない状態が経過すると一時停止し、次に音が入った時点で録音を再開します。1 時間以上音がない状態が続くと録音を自動終了します。
・VAC を「低」に設定した場合は、小さな音でも検出しやすくなるため、雑音が多い環境では録音が自動で一時停止しないことがあります。
・VAC 機能は周囲の環境により左右されますので、事前にテストした上で、録音環境に合わせて感度を切り替えてください。

音楽モードオートトラックについて
3 秒の無音を検出することによって、曲毎に自動的にトラックマーク（曲番号）を付けることができます。Track001,Track002・・・最大 Track999 自動作成します。

3 秒以上無音があっても、3 秒で一時停止し、待機状態になります。次の音を検出すると次のトラックとして録音を再開します。待機状態が 1 分を経過した場合は録音を終了します。

レベルメーターがグレーを表示しているときも無音と検出されますので録音レベルを調整してください。

・無音が 3 秒以上

		3秒	待機状態	
録音する音	♪1曲目		無音	♪2曲目
本機のファイル	Track001.wma			Track002.wma

トラックの空白時間は 3 秒になります。

・無音が 3 秒未満
3 秒未満の無音は検出されません。同じトラックとして作成されます。

・録音後のファイルを本機で編集することはできません。

録音ファイルを再生する／削除する

1 トップメニュー画面を表示して ◁ / ▷ / △ / ▽ でフォルダメニューを選び、◯ を押す

■手順 1 の画面

2 △ / ▽ で「record」フォルダを選び、◯ を押す

ラジオ録音　FM －（周波数）
外部機器録音　LINE－（年月日_時分）
マイク録音　MIC ┬ MUSIC－（年月日_時分）
　　　　　　　　└ VOICE

3 △ / ▽ で再生したいファイルを選び、◯ を押す
再生が開始されます。
手順 **3** でフォルダを選んで ◯ を長押しすると、サブメニューが表示されます。
◁ / ▷ で「再生」▶ を選び、◯ を押すと再生画面が表示され、フォルダ内のトラックが順に再生されます。（サブフォルダも含む。）

■手順 3 の画面

録音ファイルを削除するには

1 上記の手順 **2** でファイルまたはフォルダを選び、◯ を長押しする
サブメニューが表示されます。

2 ◁ / ▷ で「削除」を選び、◯ を押す
確認のメッセージが表示されます。

3 ◁ / ▷ で「YES」を選び、◯ を押す
選んだファイルまたはフォルダが削除されます。

■手順 2 の画面

■手順 3 の画面

外部機器から曲を録音する (ダイレクトレコーディング)

●LINE

1 別売のオーディオケーブルを使い、本機の LINE IN 端子と外部機器の端子を接続する
録音画面に「Line」と表示されます。

■手順 1

LINE OUT/ヘッドホン端子

LINE IN端子に接続

2 本機にヘッドホンを接続し、外部機器を再生して音量を確認する
外部機器のヘッドホン端子から録音している場合、音量が低いときは、外部機器側の音量を上げます。

3 本機で ◁ / ▷ を押して録音ボリューム（1 ～ 16）を調整し、適切な音量を決定する
本機に接続したヘッドホンで、本機のレベルメーターと音量を確認しながら録音レベルを調整します。（詳しくは本紙の「録音レベルメーターの見方と設定」をご覧ください）

■手順 3 の画面

4 本機の REC ボタンを押し、外部機器を曲の先頭から再生する
- トラックマークを「オートトラック」に設定しているとき：
  音を検出して録音が始まります。（録音状態表示が、赤●に変わります。）
  曲間の無音部分を検出して、自動的に曲ごとにトラック番号を更新します。
- トラックマークを「マニュアルトラック」に設定しているとき：
  すぐに録音が始まります。 ● を押すとトラック番号を更新します。

■手順 4

録音を一時停止／再開するには

▷■ を押す（一時停止中は ❚❚ が表示されます。録音を再開するにはもう一度 ▷■ を押してください。オートトラックに設定しているときは働きません。）

録音を停止するには

REC ボタンを押す（録音状態表示が、グレー●に変わります。）

録音したファイルを再生するには

本紙の「録音ファイルを再生する / 削除する」をご覧ください。

メモ

- 録音内容は、フォルダメニューの「record」フォルダの下の「LINE」フォルダに保存されます。録音した年月日に応じて「年月日 _ 時分」とフォルダ名が付けられ、そのフォルダの中にトラックマークごとに Track001.wma、Track002.wma …とファイル名が付けられます。（最大 Track999.wma）
- 1 つのフォルダには、録音開始から停止までのトラックを保存します。途中で録音を停止した場合は、同じ音楽 CD や MD などで再度録音しても、別のフォルダにトラックが保存されます。999 トラック作成された後は、録音が終了します。

⚠ ご注意

- 長時間録音する場合はあらかじめフル充電しておいてください。録音途中での充電池の残量不足による録音停止を防げます。
- 充電池の持続時間は、フル充電で約 15 時間（録音フォーマット WMA 形式）です（ご使用の条件により異なります）。
- 本機に入力される音量が小さいと、①音を検出できず録音が開始されない②録音した音が小さい③トラックマークが「オートトラック」のとき、録音した曲が分割されたり、音とびのように音が途切れたりすることがあります。録音を開始する前に、必ず外部機器側の音量を確認して適切な録音レベルに設定してください。

録音機能や録音品質を選ぶ

LINE 録音の品質や録音の機能を設定できます。

■手順 2 の画面

1 録音画面で ● を長押しする
サブメニューが表示されます。

2 ◁ / ▷ でアイコンを選び、△ / ▽ で機能を切り替える
録音環境に合わせて機能や品質を切り替えます。

品質

モード	品質	ビットレート	コーデック	STEREO/MONO
LP	長時間録音用	64kbps	WMA	STEREO
SP	標準	96kbps		
HQ	高音質	128kbps		
PCM	高音質	—	リニア PCM	

トラックマーク

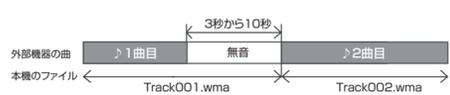
マニュアルトラック：手動でトラックを分けるとき
オートトラック：無音を区切りに、自動でトラックを分けるとき

3 ● を押して決定する

オートトラックについて

3 秒以上の無音を検出することによって、曲毎に自動的にトラックマーク（曲番号）を付けることができます。Track001,Track002・・・最大 Track999 自動作成します。

レベルメーターが表示していない、またはグレーを表示しているときも無音として検出されますので録音レベルを事前に調整してください。

- 無音が 3 秒以上～ 1 0 秒未満（検出までの 3 秒も含む）

- 無音が 1 0 秒以上（検出までの 3 秒も含む）
曲間の無音が 1 0 秒（3 秒含む）経過した場合は、一時停止し、待機状態になります。
次の音を検出すると次のトラックとして録音を再開します。
待機状態が 1 分を経過した場合は録音を終了します。
- 無音が 3 秒未満
3 秒未満の無音は検出されません。同じトラックとして作成されます。
- 録音した後のファイルを、本機で編集することはできません。

録音時間について

		XA-C109-B/-S(1GB)	XA-C59-A/-R(512MB)
LINE IN	LP(64kbps)	約 33 時間	約 15 時間
	SP(96kbps)	約 22 時間	約 10 時間
	HQ(128kbps)	約 16 時間	約 7.5 時間
	PCM	約 90 分	約 40 分
MIC	EP(32kbps)*	約 67 時間	約 31 時間
	LP(64kbps)	約 33 時間	約 15 時間
	SP(96kbps)	約 22 時間	約 10 時間
	HQ(128kbps)	約 16 時間	約 7.5 時間
FM	LP(64kbps)	約 33 時間	約 15 時間
	SP(96kbps)	約 22 時間	約 10 時間
	HQ(128kbps)	約 16 時間	約 7.5 時間

* EP はモノラルです。

メモ

実際の録音時間は録音品質とメモリ容量により異なる場合があります。

FM ラジオを受信する

トップメニュー画面を表示して ◁ / ▷ / △ / ▽ でラジオメニューを選び、● を押す

マニュアルモードで選局する

1 ◁ / ▷ を押して聴きたい放送局の周波数を選ぶ
長押しすると次に受信できる放送局を選びます。

マニュアルモードにするには

本紙の「選局モードを切り替える」をご覧ください。

FM ラジオ受信をやめるには

⇦ を押してトップメニュー画面に戻る

FM ラジオの音声を一時的に消す（ミューティング）には

▷■ を押す（MUTING が表示されます。もう一度 ▷■ を押すと、再び FM ラジオの音声が出るようになります。）

自動で放送局を登録して選局する

■手順 3 の画面

1 ● を長押しする
サブメニューが表示されます。

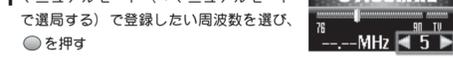
2 ◁ / ▷ で「オートプリセット」を選び、● を押す
選局が始まり、受信できる放送局が低い周波数から順番に登録されます。（最大 20 局）

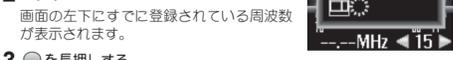
3 ◁ / ▷ を押して聴きたい放送局を選ぶ
プリセット番号が切り替わり、登録された周波数の放送を受信します。

お好みの放送局をプリセット登録する（最大 20 局）

「オートプリセット」で登録されなかった放送局や特定の周波数を、必要に応じてプリセット登録します。

■手順 2 の画面

1 マニュアルモード（⇒マニュアルモードで選局する）で登録したい周波数を選び、● を押す
チャンネルセットモードになります。（● を長押しし、サブメニューから「チャンネルセット」を選んでも同じ操作ができます。）

■手順 4 の画面

2 ◁ / ▷ で登録したいプリセット番号を選ぶ
画面の左下にすでに登録されている周波数が表示されます。

3 ● を長押しする
サブメニューが表示されます。

4 ◁ / ▷ で「セット」を選び、● を押す
周波数がプリセット番号に登録されます。
「クリア」を選んで ● を押すと、登録が削除されます。

選局モードを切り替える

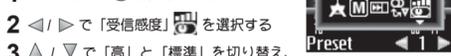
マニュアルモードとプリセットモードを切り替えます。必要に応じてモードを選択してください。

1 ● を長押しする
サブメニューが表示されます。

2 ◁ / ▷ で「マニュアルモード」または「プリセットモード」を選び、● を押す

受信感度を切り替える

オートプリセット時やマニュアルモードで選局するときにうまく受信できないときは、受信感度を切り替えます。

■手順 2 の画面

1 ラジオ画面で ● を長押しする

2 ◁ / ▷ で「受信感度」を選択する

3 △ / ▽ で「高」と「標準」を切り替え、● を押す
感度が切り替わります。

ステレオ／モノラルを切り替える

ステレオモードでは、受信状態が悪いと雑音が入り、聞き取りにくいことがあります。このようなときには、モノラルモードにすると雑音が軽減され、聞き取りやすくなります。

■手順 2 の画面

1 ラジオ画面で ● を長押しする
サブメニューが表示されます。

2 ◁ / ▷ で「ステレオ／モノ」を選ぶ

3 △ / ▽ で「ステレオ」と「モノ」を切り替え、● を押す
選んだモードに切り替わります。

メモ

- 本機はヘッドホンが FM アンテナの役割をしています。受信状態が悪い場合は、なるべくコードを伸ばした状態で、ヘッドホン端子に挿してください。
- ミューティング中に REC ボタンを押すと、FM ラジオの音声が出て録音を開始します。
- LINE IN 端子にオーディオケーブルを接続していると、ラジオ画面は表示されません。
- 「オートプリセット」を実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて削除されます

FM ラジオを録音する

●REC

1 ラジオ画面を表示し、録音したい周波数を選局する

2 REC ボタンを長押しする
録音画面が表示され、録音が始まります。（録音状態表示が、赤●に変わります。）

録音を一時停止／再開するには

▷■ を押す（一時停止中は ❚❚ が表示されます。録音を再開するにはもう一度 ▷■ を押してください。）

ファイルを分けて録音するには

● を押す

- 録音した後のファイルを、本機で編集することはできません。

録音を停止するには

REC ボタンを押す（ラジオ画面に戻ります。）

録音したファイルを再生するには

本紙の「録音ファイルを再生する / 削除する」をご覧ください。

メモ

- 録音内容は、フォルダメニューの「record」フォルダ下の「FM」フォルダ内で、周波数別にフォルダ保存されます。録音した年月日に対応して「年月日 _ 時分 .wma」と、WMA 形式でファイル名が付けられます。
  2006 年 04 月 01 日 20 時 12 分 周波数 81.30MHz の場合：
  「081_30」フォルダの中に「060401_2012.wma」という名前のファイルができます。
- 録音の品質を変更することができます。付属の CD-ROM 収録の取扱説明書「設定する」にある「ラジオの録音品質を設定する」を参照してください。

困ったときは

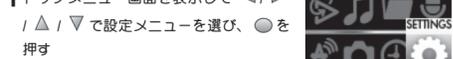
ビクターサービス窓口へのお問い合わせの前に、以下をご確認ください。また、本機の表示窓にメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」もご確認ください。

こんなときは	次の点を確認してください
内蔵充電池の持続時間が短い	・十分に充電されていますか。バッテリーインジケーターが ▥ になるまで充電してからご使用ください。 ・内蔵充電池が寿命の場合があります。サービス窓口に相談し、必要な場合は新しい充電池と交換してください。
自動的に電源が切れる	・自動電源オフ機能が設定されています。
パソコンが起動しない	・パソコンによっては、本機が接続されていると、パソコンが起動しないことがあります。本機を外してパソコンを起動してから、本機を接続してください。
表示窓の表示が点灯しない	・充電されていません。内蔵充電池を充電してください。 ・省電力設定が「オン」になってませんか。● を押してください。
充電しても表示窓に「Low Battery」、「Low Battery Charging」と表示される	・充電したまま約 3 分～ 5 分お待ちください。表示可能になったら自動で画面を表示します。

お買い上げ時の設定に戻す（リセット）

保存しているデータは削除されません。
（時計、日付設定はリセットされません。）

■手順 1 の画面

1 トップメニュー画面を表示して ◁ / ▷ / △ / ▽ で設定メニューを選び、● を押す
「設定」画面が表示されます。

2 △ / ▽ で「リセット」を選び、● を押す

3 ◁ / ▷ で「YES」を選び、● を押す
リセットが実行されます。

操作を途中でやめるには

上記の手順 **3** で「NO」を選び、● を押す

本機が動作しなくなったときは

1 先の細いもの（ピンやまっすぐに伸ばしたペーパークリップなど）で本機の左側面のリセットボタンを押す

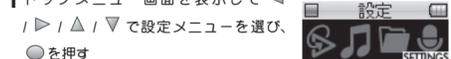
⚠ ご注意

- パワーオフ時「終了します」メッセージが出ている間はリセットボタンを押さないでください。本機のメモリが破壊されることがあります。

本機のメモリを初期化する（フォーマット）

本機のメモリを初期化（フォーマット）できます。初期化すると、記録された音楽 / 音声ファイルや画像データはすべて消去されます。ご注意ください。

■手順 1 の画面

1 トップメニュー画面を表示して ◁ / ▷ / △ / ▽ で設定メニューを選び、● を押す
「設定」画面が表示されます。

2 △ / ▽ で「システム」を選び、● を押す
「システム」画面が表示されます。

■手順 4 の画面

全データを消去します。よろしいですか? YES NO

3 △ / ▽ で「フォーマット」を選び、● を押す
「フォーマット」画面が表示されます。

■手順 5 の画面

ライセンスも初期化しますか? YES NO

4 ◁ / ▷ で「YES」を選び、● を押す
ライセンス消去確認画面が表示されます。

5（ライセンス付き音楽ファイルが含まれている場合）必要に応じて ◁ / ▷ で「YES」または「NO」を選び、● を押す
「YES」を選択すると、配信音楽ファイルのライセンス情報が消去されます。
「NO」を選択すると、配信音楽ファイルのライセンス情報は消去せずに、フォーマットします。
配信音楽ファイルを含んでいる場合は、「NO」を選択してください。
確認画面が表示されます。

■手順 6 の画面

よろしいですか? YES NO

6 ◁ / ▷ で「YES」を選び、● を押す
メモリが初期化されます。

トップメニュー画面に戻るには

⇦ を長押しする

仕様

型名	XA-C109-B/-S	XA-C59-A/-R
形式	デジタルオーディオプレーヤー	
内蔵メモリー容量	1GB	512MB
最大保存曲数	約 500 曲 （WMA 64kbps 4 分 / 1 曲）	約 230 曲 （WMA 64kbps 4 分 / 1 曲）
再生対応フォーマット [*1]	MP3（8kbps ～ 320kbps, 8kHz ～ 48kHz, VBR）/ WMA（8kbps ～ 320kbps, 8kHz ～ 48kHz, VBR）/ WMA-DRM10/WAV（16bit, リニア PCM、8kHz ～ 48kHz）	
画像対応フォーマット	JPEG 対応、プログレッシブ JPEG 非対応	
FM 受信周波数	76.0MHz ～ 90.0MHz（TV：1CH ～ 3CH）	
チャンネル数	2 チャンネル・ステレオ	
再生周波数特性	30Hz ～ 20kHz	
実用最大出力	11mW ＋ 11mW（JEITA*/DC）32 Ω	
動作温度	0℃～ 40℃	
最大外形寸法	幅 44.8mm ×高さ 86.3mm ×奥行き 12.3mm 幅 44.0mm ×高さ 86.0mm ×奥行き 11.7mm （突起部を含まず）	
質量	49g	
電源	内蔵リチウムイオン充電池	
充電時間	約 3 時間 5V/500mA 供給可能な USB ポートまたは、専用の USB AC アダプター（AA-R511）を使用してください。	

*1 サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
VBR：可変ビットレート

メモ

地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聴くことはできません。

電池持続時間

再生時（JEITA*）	MP3（128kbps）		約 21 時間
	WMA（128kbps）		約 20 時間
	PCM		約 23 時間
	FM		約 17 時間
録音時	LINE IN	WMA	約 15 時間
		PCM	約 18 時間
	MIC		約 12 時間
	FM		約 11 時間

* JEITA は、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

メモ

- 録音時の電池持続時間は計算値です。
- 上記は、満充電時の連続動作時間です。周囲の温度や使用状況により、動作時間は異なります。
- 電池持続時間は、「サウンド設定：オフ」、「表示設定：省電力モード」に設定されているときの目安です。著作権保護されたコンテンツの再生を除きます。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

メッセージ一覧

表示窓に表示されるメッセージに応じて、以下の対処方法を確認してください。

システムエラーメッセージ

表示メッセージ	内容	対処
FS Critical Error	ファイルシステムに異常が発生している。	お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
SYS Error: □□ （□□：エラー番号）	システムに異常が発生している。	フォーマットもしくは「XA-C Series アップデータ」を使用して「初期化」してください。それでも問題が発生する場合は、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
File system が壊れています。フォーマットしてください。	File system が壊れています。	フォーマットしてください。
ディスクチェック中	ファイルシステムに問題が発生しているため、修復します。	表示が消えるまでお待ちください。問題が発生したファイルについては自動的に消去されます。

その他のメッセージ

表示メッセージ	内容	対処
Battery Error	内蔵充電池に異常が発生している。	お買い上げの販売店にご相談ください。
System File Error	システムファイルがありません。	「XA-C Series アップデータ」を使って、「初期化」してください。
Low Battery	本機の電池残量がない。	本機を充電してください。
Low Battery Charging …	充電中ですが、まだ本機を動作することができません。	もうしばらく、充電を継続してください。
Low Temp. （▥ を表示）	本機の温度が低い。	温度が動作可能範囲（0° ～ 40℃）に上がるまでお待ちください。
High Temp. （▥ を表示）	本機の温度が高い。	温度が動作可能範囲（0° ～ 40℃）に下がるまでお待ちください。
ライセンスがありません。PC と再同期してください	ライセンスの切れた配信曲を再生しようといている。	パソコンと同期をとり、ライセンスを取得してください。
再生出来ません	再生できない音楽ファイルを再生しようとしている。	このファイルをスキップして、次のファイルを再生します。
表示出来ません	表示できない画像ファイルを表示しようとしている。	◁ / ▷ ボタンで別のファイルにスキップできます。
録音を終了しました	自動で録音を停止した。	必要な場合は、再度録音してください。
空き容量がありません	録音の空き容量がなくなった。	ファイルを消して空き容量を増やしてください。
最大録音時間を超えました	24 時間以上録音を続けた。	再度録音してください。
最大トラック数を超えました	トラックマークで 999 ファイル作成した。	再度録音してください。
Format Storage ?	ファイルシステムに問題が発生している。	強制的にフォーマットします。● を押すとフォーマットが実行されます。すべてのデータが消去されます。
最大登録数を超えました	トラック、ファイル、ディレクトリの最大数を超えました。	本機からデータを削除してください。